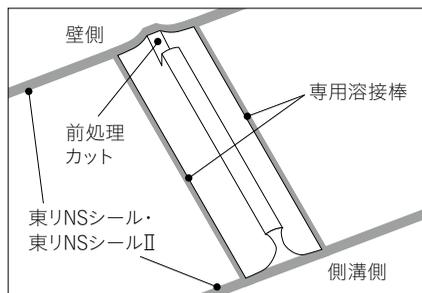


NSセパレーン 施工手順

施工イメージ



1 施工可否の確認

図1の様に隔て板と床の隙間を測定し、30mm以上の隙間があることを確認してください。隙間がなければ施工できません。

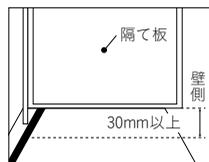


図1

2 下地の確認

湿気のない平滑な下地であることを確認してください。

凹凸がある場合は、ケレンや補修材による補修を行ってください。

3 割付

図2の様に、下地に割付け線を付けてください。

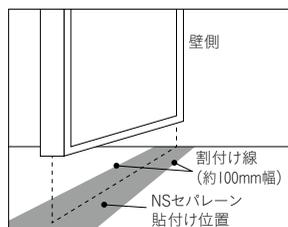


図2

4 前処理カット

図3の様にNSセパレーンの片側を切り落としてください。

※壁側の端部処理(シール処理)作業が容易になります。



図3 カット後

【切り落とし方】

①図4のように、立ち上がり部の上からカッターナイフで垂直方向に10～15mm程度、真っ直ぐに切り込みを入れます。

②断面側から長手方向にカッターナイフで切り込みを入れ、立ち上がり部を切り落とします。(図5)

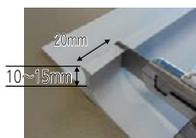


図4



図5

5 接着剤の塗布と貼付け

下地に指定接着剤を塗布し、待ち時間を取った後、図6、図7の様にNSセパレーンを貼付け、フラット部を十分に圧着してください。

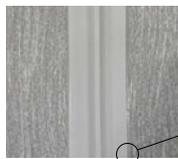


図6

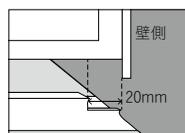
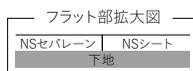


図7

【貼付け方向注意】

必ず、4で切り落とした方を壁側に向けて施工してください。

6 継目処理

接着剤が硬化した後、NSセパレーンとNSシートの継目をU字カットし、NSシート用の専用溶接棒で熱風溶接してください。(図8)

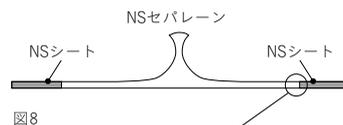
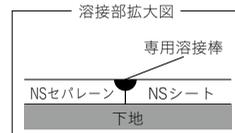


図8



7 端部処理

接着剤が完全に硬化した後、施工するNSシートに対応する東リNSシールもしくは東リNSシールIIにて端部処理を行ってください。

(図9、図10)

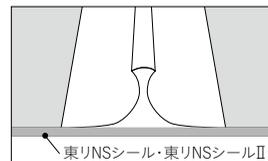


図9 側溝側

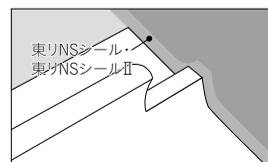


図10 壁側